

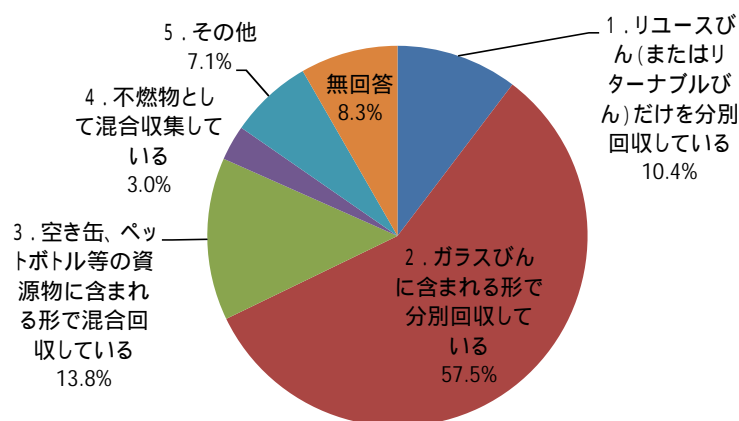
市区町村におけるリユースびん採取の現状

1. 結果概要

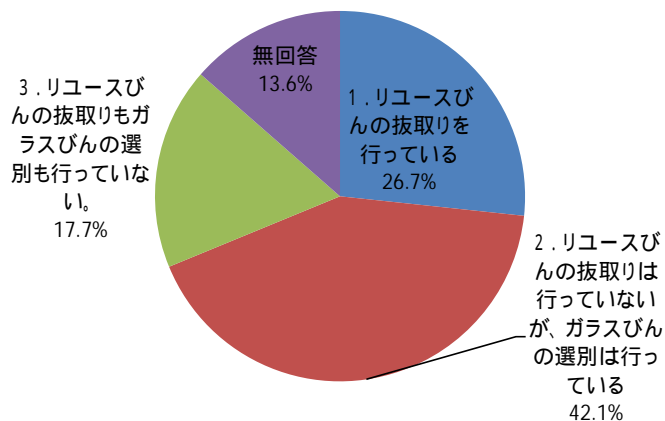
1.1 採取を実施している市町村の割合（H26年度アンケートより）

- リユースびんの分別収集をしている市町村は 10.4%（N=132）で、小規模市町村での実施が多い。
- リユースびんの分別収集をしていない市町村のうち（N=1,143）採取を行っている市町村は 26.7%（N=305）で、規模の大きな市区町村での実施割合が高い。都道府県別に見ると、関東、北海道での実施が多い。
- ガラスびんの分別収集を実施している市町村のうち（N=750）リユースびんの採取は行っていないが、ガラスびんの選別を行っている市町村は 43.1%（N=323）（採取を実施できる可能性が高いと考えられる）
- 平成 27 年度調査では、回答のあった市町村（N=210）のうち 97%が「継続予定」と回答し、「中止を検討している」と回答した市区町村は 2%（N=3 件）（いずれもびん商から回収用ケースの不足や、採算性が合わないため引取りを中止する申し出があったことが理由）

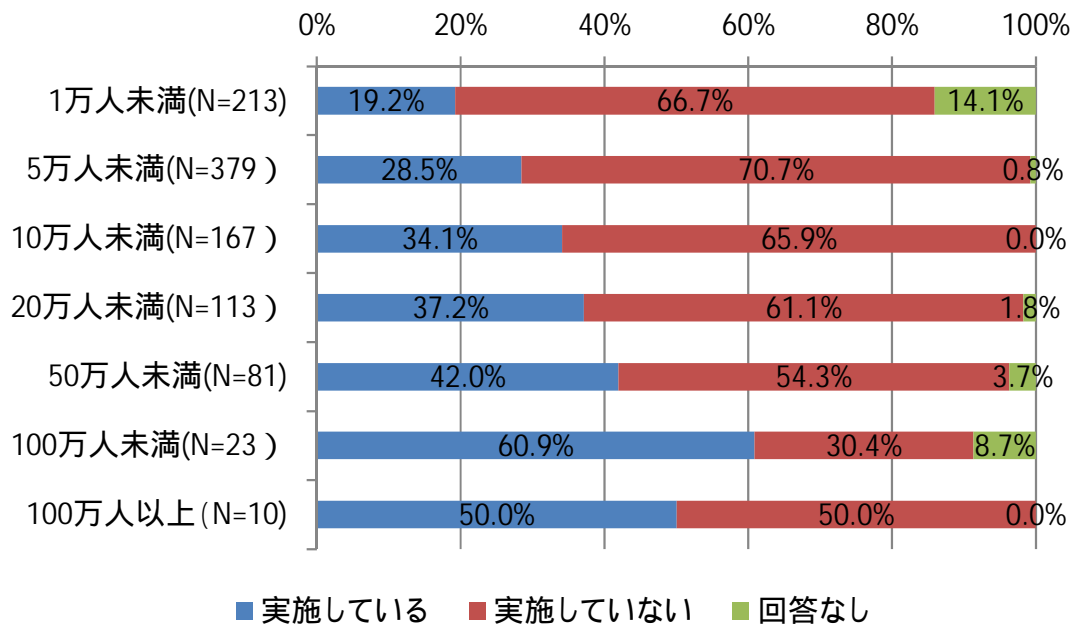
図表 1 リユースびんの分別区分（N=1,275）



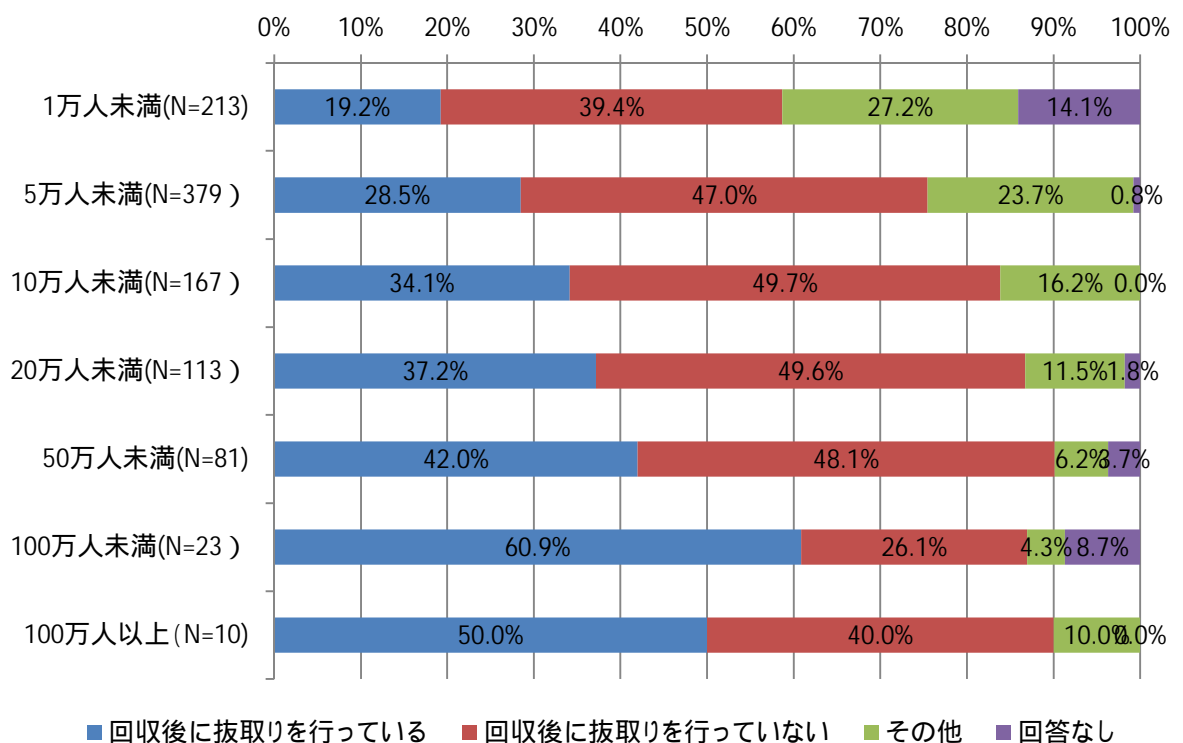
図表 2 リユースびんの採取の実施状況（N=1,143）



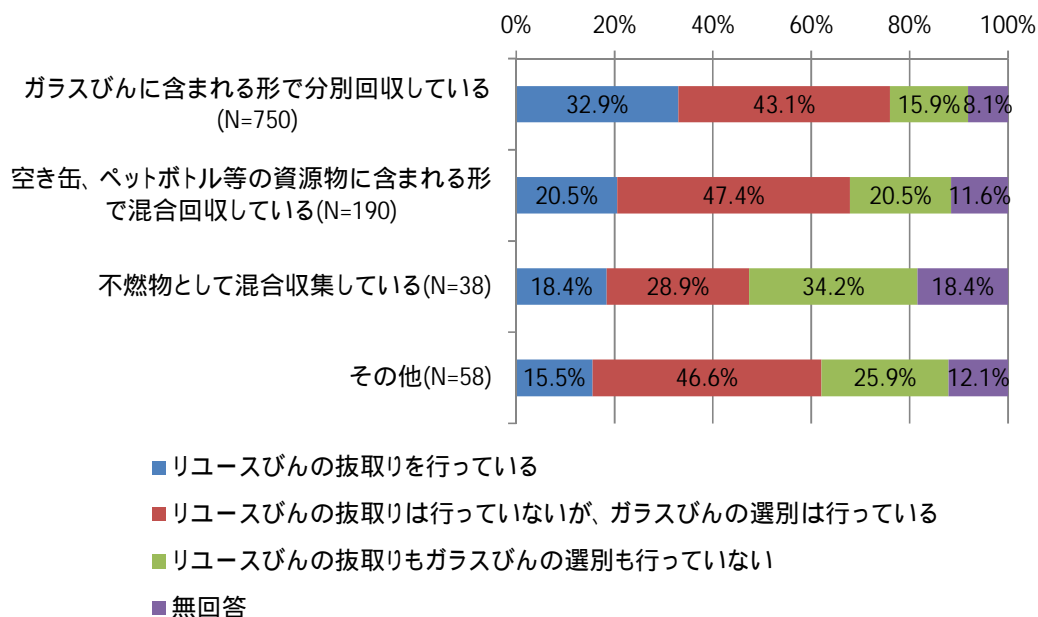
図表 3 人口規模別・リユースびんの抜き取り実施市区町村割合



図表 4 収集中・収集後のリユースびんの抜取りの有無（地域別）



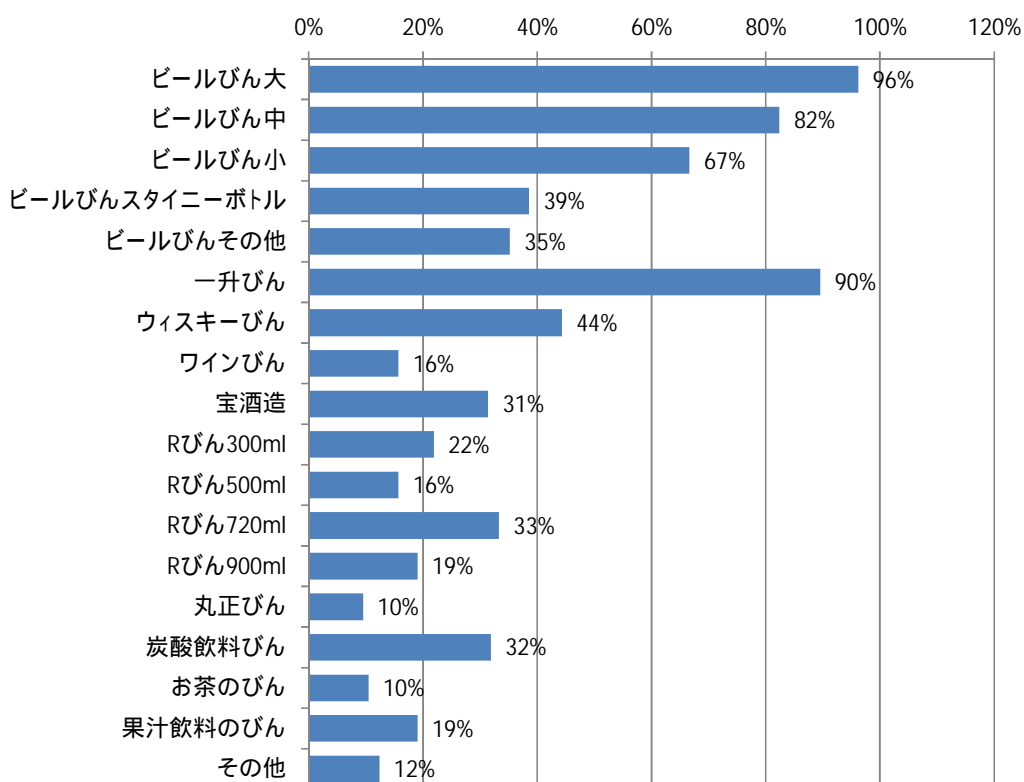
図表 5 分別区分別に見た収集中・収集後のリユースびんの抜取りの有無



1.2 抜き取りの方法・対象・見分け方

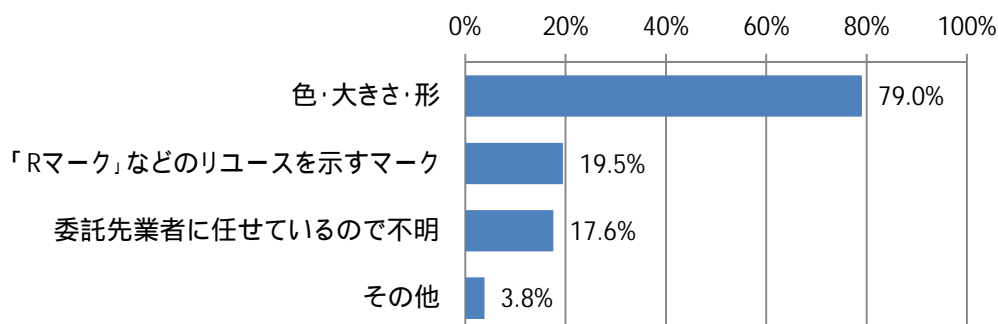
- 抜き取りを行っている市町村 (N=210) のうち、抜き取りを行うタイミングは「回収後」が 81% (N=171) と最も多い。
- 抜き取りの対象としているリユースびんの種類は、「ビールびん大・中・小」「一升びん」は半分以上の市区町村で対象となっているが、それ以外のびんは一部市町村でしか対象となっていない。

図表 6 びんの種類別・抜き取り対象としている市町村の割合 (N=210)

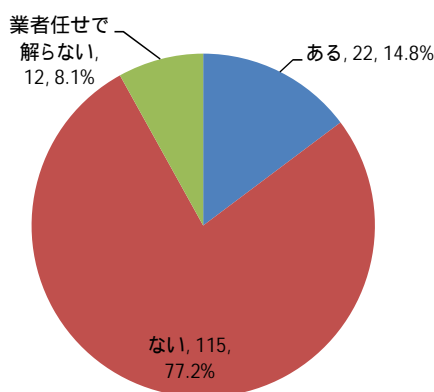


- 抜き取り対象のびんの見分け方は、「色・大きさ・形」が79.0% (N=166)と最も多い。「Rマーク」などのリユースを示すマーク」は19.5% (N=41)、「その他」は「商品名」や「銘柄」、「引き取り先からのメーカー別対応表」、「重量」)
- びん商などの処理業者から提供されるケースで抜き取ったびんを保管している市町村 (N=149)のうち、直近の3年間でケースが不足したことがある市区町村は22% (N=22)。

図表 7 抜き取り対象のびんの見分け方 (N=210)



図表 8 ケースの不足の有無 (N=149)

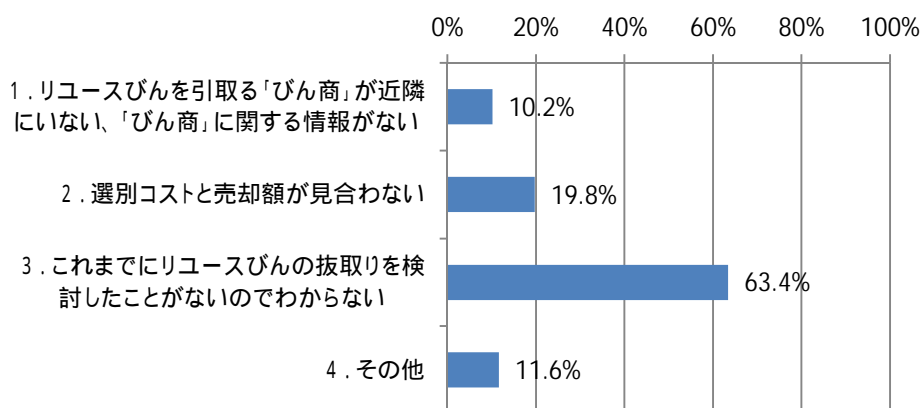


1.3 抜き取り量の拡大について

(1) 抜き取りを実施していない市町村での新たな導入について

- 抜き取りを行っていない理由として最も多かったのは「検討したことがない」(63.4%)。

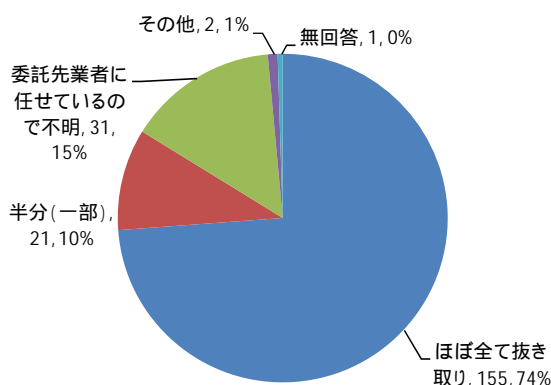
図表 9 抜き取りを行わない理由 (N=481)



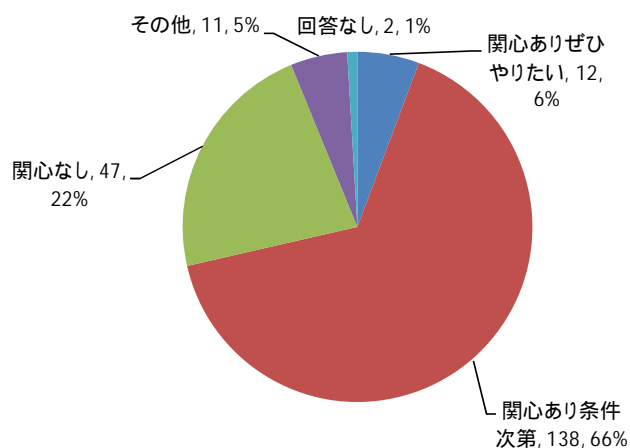
(2) 抜取を実施している市町村での抜取り量・対象の拡大について

- 抜き取りを実施している市町村 (N=210) の 74 (N=155) が対象としているリユースびんの「ほぼすべてを抜取りできている」と回答。(抜き取ることができない主な理由は「びんの破損・汚れ」)
- 抜取り対象とするびんの抜取り量や、種類を拡大することについて、「関心あり,ぜひやりたい」と「関心あり,条件次第」とを合わせて 72% (N=150)。
- 対象とするびんの種類や抜取り量を拡大するうえでの課題は、「保管用スペースの確保」「人員の確保」「取引先の確保」。

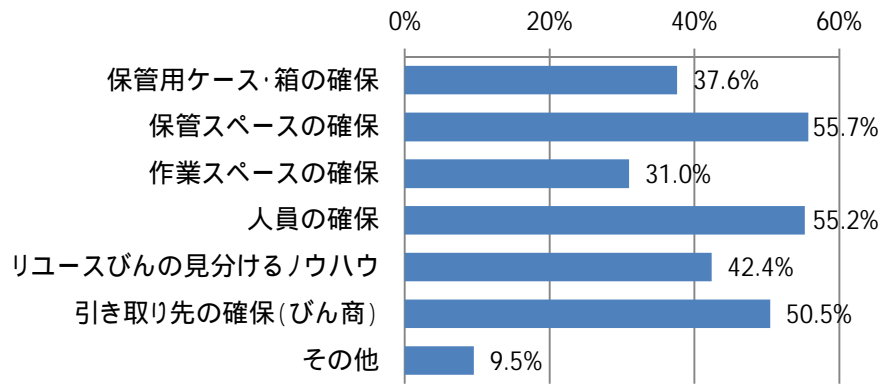
図表 10 抜取りの徹底状況 (N=210)



図表 11 抜取り対象びんの量・種類の拡大への関心 (N=210)



図表 12 対象種類拡大における課題 (N=210)



2. 今年度アンケート結果（リユースびんの採取の現状と課題）

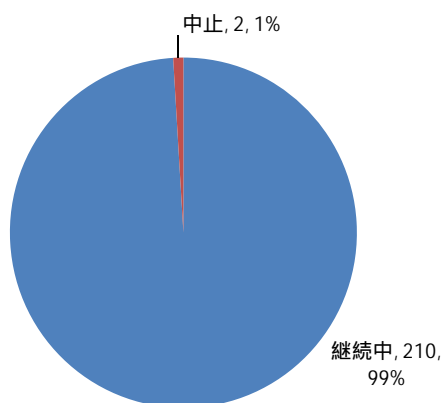
2.1 リユースびんの採取の現状

(1) 採取の実施について

1) 採取の継続状況

昨年度、採取を実施していると回答した市区町村のうち、99%が現在も採取を継続している。中止したと回答した市区町村は、その理由として「市の複数の中間処理施設の一部で採取を実施していたが、その施設が廃止され、自動選別機を導入している他の施設に搬入するようになった」ということを挙げている。

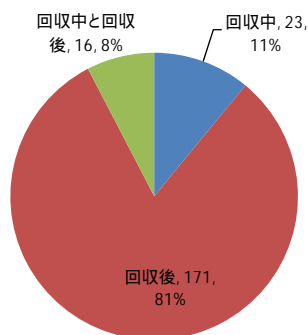
図表 13 採取の継続状況 (N=212)



2) 採取のタイミング

採取を行うタイミングは「回収後」が 81%と最も多く、次いで回収中が 11%、回収中と回収後の両方で行うが 8%であった。

図表 14 採取のタイミング (N=210)



(2) 採取を行っているびん

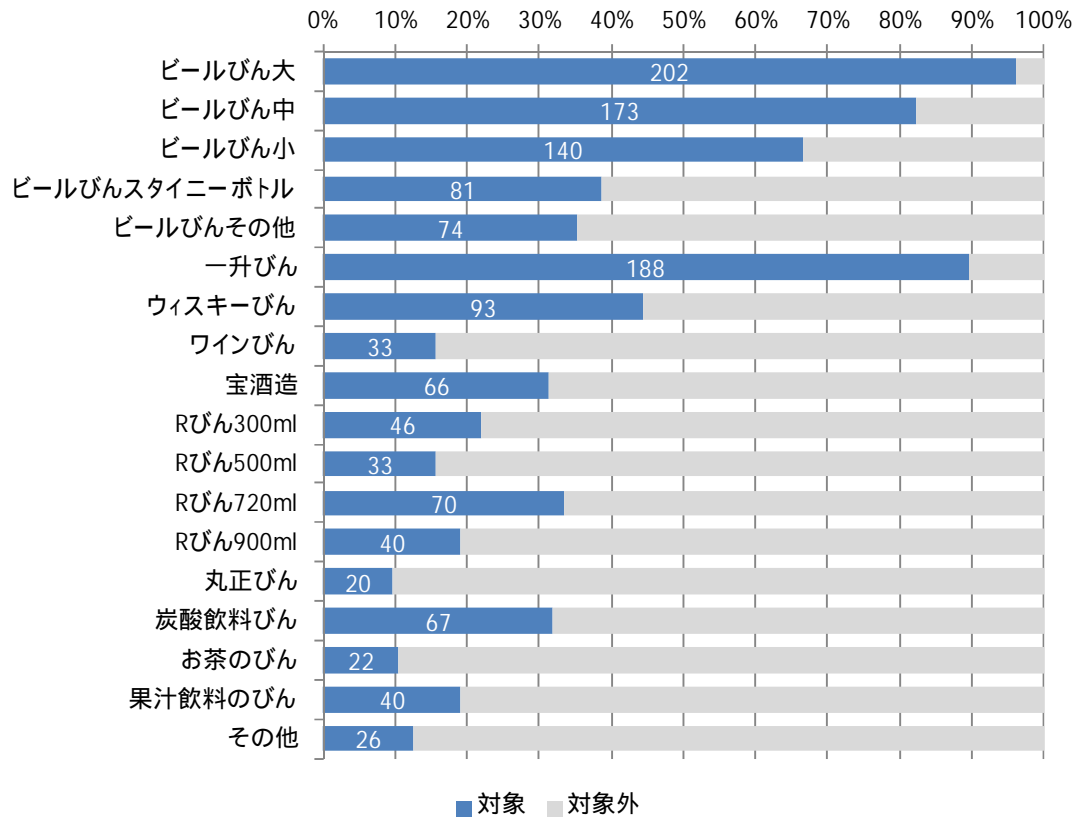
1) 種類

採取の対象としている市区町村数が多いびんの種類は、「ビールびん大」と「一升びん」「ビールびん中」「ビールびん小」で、いずれも半分以上の市区町村で対象となっている。一方で、「ワインびん」、720ml 以外の「Rびん」「丸正びん」「お茶のびん」を対象としている市区町村数はいずれも 2 割程度かそれ以下であり非常に少ない。これらのびんを対象としている市区町村は、東京都・千葉県・埼玉県の関東地域と北海道に多く、東北地域や東海地域でも一部の市区町村が対象としており、地域差が生じている。(図表 16)

「その他」として挙げられたリユースびんは、「ホッピー」「泡盛びん」「Rびん 180ml」「Rび

ん以外の 720ml(四合びん)」「R びん以外の 300.720ml」「ジャンボ手付白」「コカコーラびん」「スーパ－ニッカ」「純レジェンド」であった。

図表 15 びんの種類別抜取り実施市町村数 (N=210)



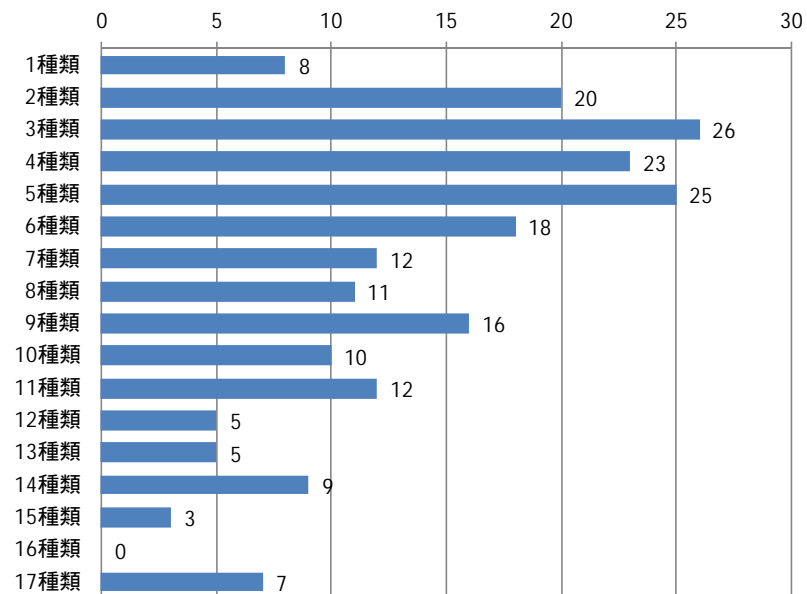
	回答数	ビールびん 大	ビールびん 中	ビールびん 小	ビールびん スタイナーポ トル	ビールびん その他	一升びん	ウイスキー びん	ワインび ん	宝酒造	Rびん 300ml	Rびん 500ml	Rびん 720ml	Rびん 900ml	丸正びん	炭酸飲料び ん	お茶のび ん	果汁飲料の びん
北海道	28	26	26	21	14	15	26	15	4	15	8	6	14	5	3	16	4	11
青森県	2	2	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
岩手県	6	5	4	3	2	2	6	2	2	2	3	0	3	2	2	1	1	1
宮城県	11	11	8	5	3	5	11	7	1	5	5	1	5	1	0	2	3	2
秋田県	2	2	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山形県	2	2	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
福島県	3	3	2	2	0	2	3	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0
茨城県	3	3	3	1	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群馬県	7	7	4	4	2	2	7	2	3	6	1	1	2	1	1	2	1	1
埼玉県	12	12	8	5	3	2	7	6	1	2	1	1	1	1	0	3	1	3
千葉県	11	11	9	9	6	3	10	5	0	1	3	5	5	2	0	4	1	2
東京都	31	30	29	27	15	13	27	25	10	19	8	9	19	13	4	20	6	11
神奈川県	9	9	8	6	5	4	7	6	2	5	2	1	2	1	1	3	1	3
新潟県	5	5	4	3	2	2	3	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0
富山県	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石川県	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福井県	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
山梨県	2	2	2	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
長野県	3	2	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岐阜県	2	2	2	2	1	1	2	0	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0
静岡県	7	7	6	4	2	2	7	4	0	3	2	1	2	2	0	4	0	2
愛知県	7	7	3	3	1	1	7	5	1	2	4	2	5	3	2	2	0	0
三重県	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
滋賀県	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都府	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪府	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
兵庫県	3	3	3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良県	2	2	2	2	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥取県	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根県	4	4	4	3	2	2	4	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
岡山県	5	5	5	4	3	2	5	3	3	1	0	0	1	1	2	1	0	0
広島県	2	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳島県	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香川県	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高知県	3	3	2	1	0	0	3	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1
福岡県	3	3	3	3	1	2	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
佐賀県	2	2	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長崎県	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本県	3	3	3	3	1	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮崎県	2	2	2	2	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
鹿児島県	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沖縄県	5	4	4	4	4	2	5	0	0	0	2	2	2	1	1	0	0	0
合計	201	193	164	132	76	71	180	88	31	65	46	33	69	39	20	64	21	39

*市区町村名の回答がないサンプルがあるため、合計数は一致しない。

2) 種類数

市区町村ごとの抜取り対象としているびんの種類数は、2種類から5種類が多い。一方で、10種類以上を対象としている市区町村も2割以上存在している。

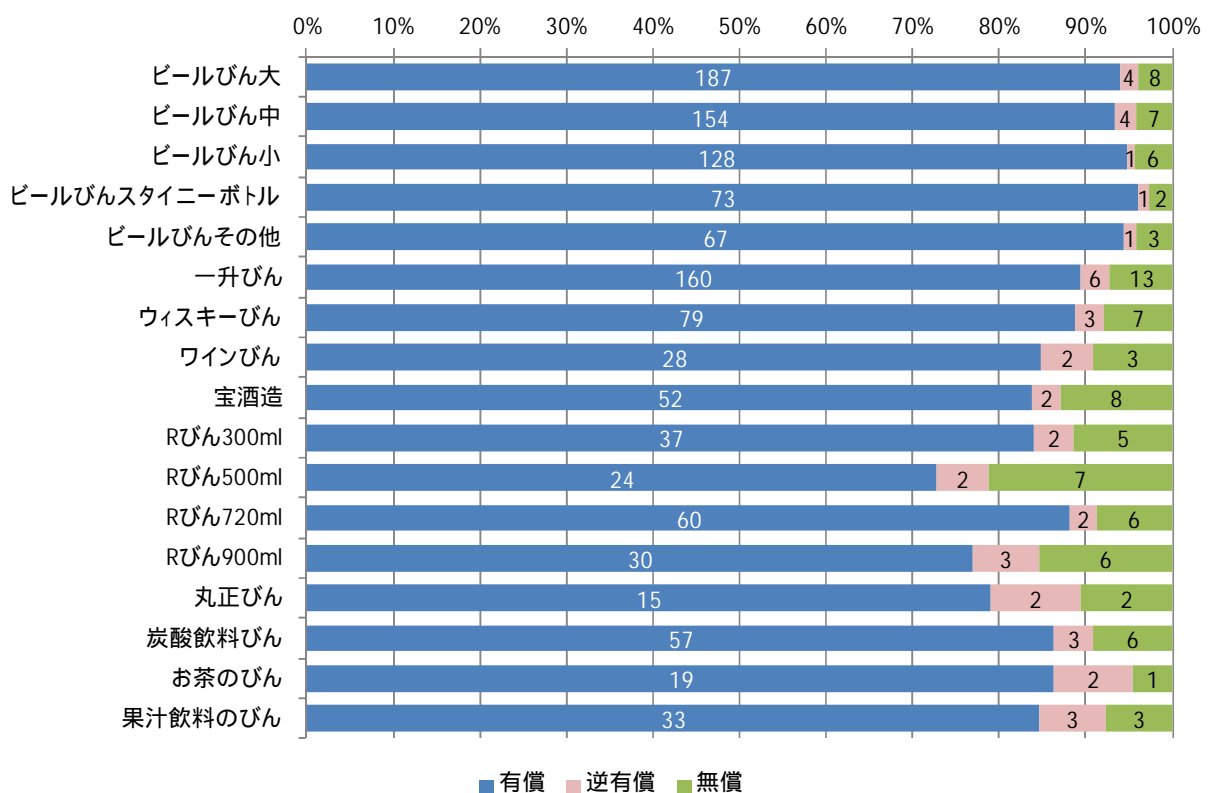
図表 17 抜取りを行っているリユースびんの種類数 (N=210)



(3) びんの引渡条件

いずれの種類のリユースビンについても、7割以上が有償で取引されている。

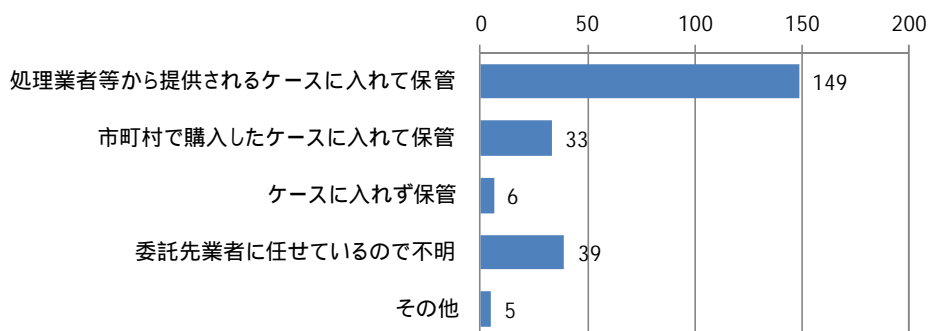
図表 18 リユースびんの引渡条件 (N=210)



(4) びんの保管方法

抜き取ったリユースびんは、「処理業者等から提供されるケースに入れて保管」と回答した市区町村が最も多い。「その他」は、「選別後、ただちに売却」など、市区町村で保管していない場合が挙げられた。

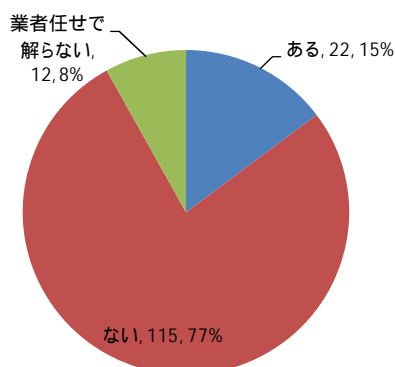
図表 19 びんの保管方法 (N=210)



(5) ケース・箱の不足

びん商などの処理業者から提供されるケースが、直近の3年間において不足したことがあると回答した市区町村は、22%であった。

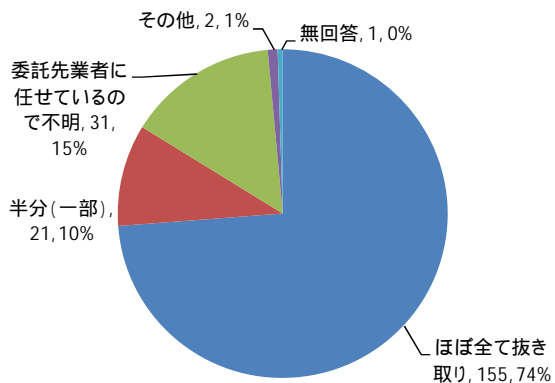
図表 20 ケースの不足の有無 (N=149)



(6) 抜取りの徹底状況

抜取りの対象としているリユースびんについて、「ほぼすべてを抜取りできている」と回答した市区町村は74%と最も多い。10%の市区町村では、「半分または一部を抜き取ることができている」と回答した。

図表 21 抜取りの徹底状況 (N=210)

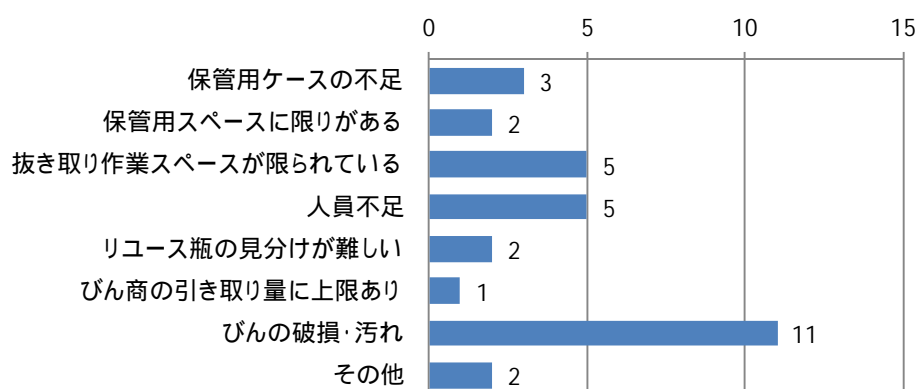


(7) 全てを抜き取ることができない理由

抜き取り対象のびんを「半分または一部を抜き取ることができている」と回答した市区町村に、対象のびんをすべて抜き取ることができていない理由を尋ねたところ、びんの破損・汚れを理由とする回答が11件と最も多い。次いで、「抜き取り作業スペースが限られている」「人員不足」が挙げられている。

「その他」の回答は、「ほぼ全てを抜き取ることが出来ているが、一升瓶についてのみ季節により保管箱が大きく不足する」「自家搬入のものを抜き取っている」であった。

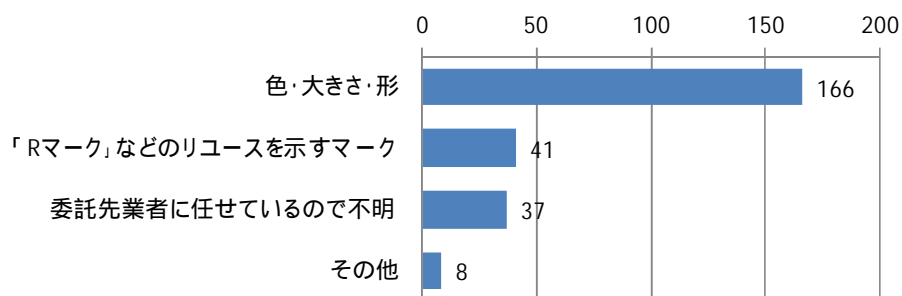
図表 22 対象びんのすべてを抜き取ることができない理由 (N=21)



(8) びんの見分け方

抜き取り対象のびんの見分け方は、「色・大きさ・形」が166件と最も多く、「「Rマーク」などのリユースを示すマーク」は41件であった。「その他」の回答は、「商品名」や「銘柄」、「引き取り先からのメーカー別対応表」、「重量」であった。

図表 23 抜き取り対象のびんの見分け方 (N=210)



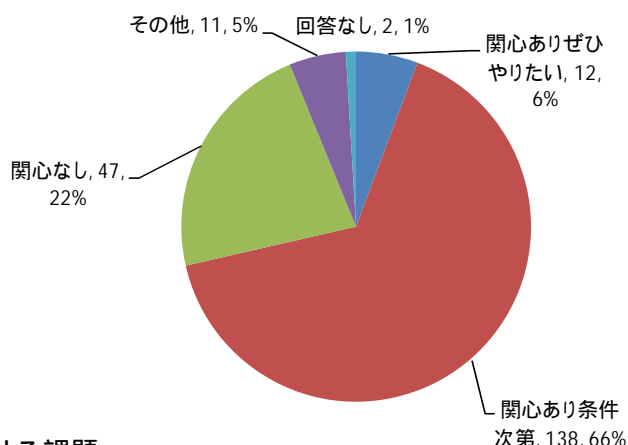
2.2 リユースびんの採取量・対象の拡大について

(1) 採取対象びんの量・種類の拡大への関心

採取対象とするびんの採取量や、種類を拡大することについて、「関心あり,ぜひやりたい」と「関心あり,条件次第」とを合わせて72%が前向きな回答であった。

「その他」は、「ほぼ抜き取りができて」「費用対効果に見合えば検討したい」「委託業者にできる範囲で行ってほしい」「販売店への引き渡しを推進している」「ケース搬入・回収は逆有償の為にトータルで逆有償額が増えるならば実施困難と考える」であった。

図表 24 採取対象びんの量・種類の拡大への関心 (N=210)



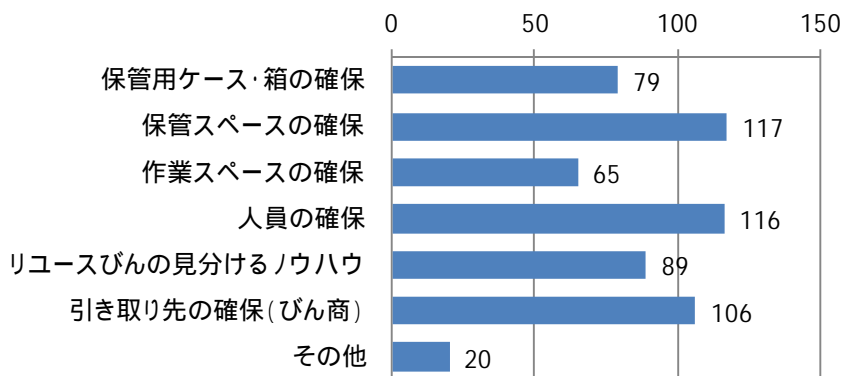
(2) 対象種類拡大における課題

対象とするびんの種類や採取量を拡大するうえでの課題は、「保管用スペースの確保」「人員の確保」「取引先の確保」が多く挙げられた。

その他の回答は、「増やす種類のものがある程度の量排出されて、引き取りの体制がとれていること」「回収方法の確立が必要」「ごみステーションから回収する際に割れないようにする方法」

分別種類の追加「分別種類の追加」「逆有償にならないように対象物を十分決める必要」「ビンの種類をなるべく統一し循環させるための数量を確保。リユースビンを使用するメリットを使用者(社会等)消費者に向け、国が啓発を徹底」「回収事業者の採算性の確保」「有償であること」「予算の確保」であった。

図表 25 対象種類拡大における課題 (N=210)

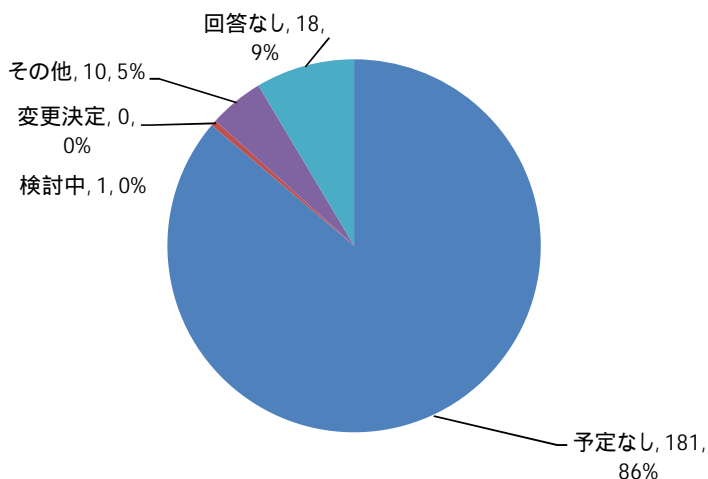


2.3 リユースびんの採取のための車両

(1) 平ボディ車からパッカー車への変更

リユースびんを平ボディ車で収集している市区町村のうち、今後パッカー車への変更予定について尋ねたところ、86%が「予定なし」で、検討中が1件、変更決定は0件であった。

図表 26 平ボディ車からパッカー車への変更予定 (N=210)



(2) パッカー車への変更後の採取実施

1件は、変更後も継続予定と回答した。

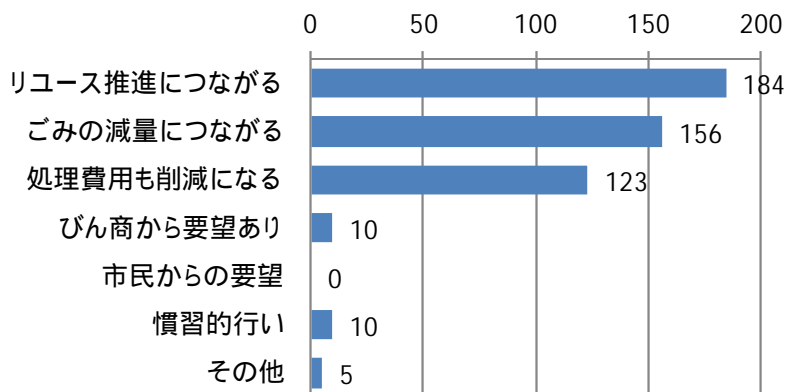
2.4 リユースびんの採取の今後

(1) 採取を行う理由

採取を行う理由としては、「リユース推進につながる」が184件と最も多く、次いで「ごみの減量につながる」(156件)、「処理費用も削減になる」(123件)が続いている。

「その他」は、「市の財源になるから」などであった。

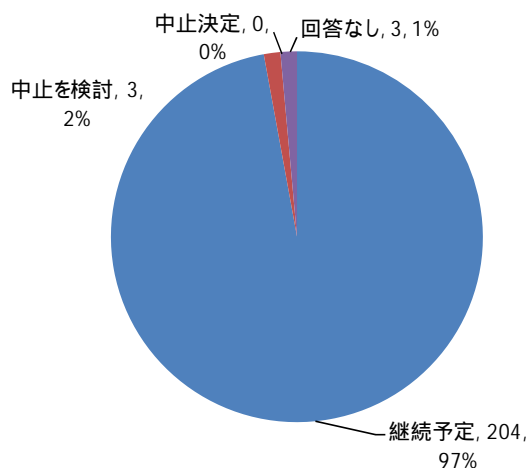
図表 27 採取を行う理由 (N=210)



2.5 今後の継続について

抜取りの今後の継続については、97%が「継続予定」と回答した。「中止を検討している」と回答した市区町村は全体の2%にあたる3件であり、いずれもびん商から回収用ケースの不足や、採算性が合わないため引取りを中止する申し出があったことを理由として挙げている。

図表 28 今後の継続について (N=210)



2.6 まとめ

本アンケートを通して明らかになったことを以下に整理する。

第一に、抜取りを実施する市区町村が今後減少していく可能性があることが示唆された。昨年度実施していた市区町村のうち2市区町村が今年度は抜取りを中止しており、また、継続中の市区町村においても中止を検討しているところが3件存在している。これらの中止あるいは中止を検討しているという市区町村は、現時点では数パーセントにすぎないが、中止検討を打診しているびん商が理由に挙げている「ケース不足」「採算性」のうち、「ケース不足」については15%の市区町村が直近の3年間で問題になったと回答しており、これらの市区町村は抜取りの中止検討には至っていないが中止に至る可能性があると考えられる必要がある。

次に、抜取りを行うびんの量の拡大については、約7割の市区町村が条件付きを含めて関心を示しており、現在対象としているびんの抜取り徹底による拡大余地はそれほど大きくない一方で、対象とするびんの種類を増やすことについては検討する必要があると考えられる。現在の抜取りの徹底状況については、7割の市区町村が抜取りの対象としているびんのうち「ほぼすべてを抜き取ることができている」と回答しており、また、「半分または一部のみを抜き取っている」場合の理由の多くが回収時や排出時の「びんの割れ・汚れ」であったことから、抜取りの徹底による回収量の拡大余地は大きくはないと考えられる。一方、対象とするびんの種類については、ビールびんや一升びんはほとんどの市区町村で対象とされているが、それ以外の種類のびんは一部の市区町村のみ対象となっており、対象としている市区町村数に地域差が生じている。この背景を明らかにしつつ、導入可能な地域については、保管スペースの確保や、引取り先のびん商の情報、人員不足の課題をクリアすることを含めて、対象種類の拡大を検討していく余地があると考えられる。

3. アンケートの実施概要

平成 26 年度

実施期間	平成 27 年 1 月～平成 27 年 2 月
実施方法	郵送法
発送数	1,731 件
返信数	1,275 件
回収率	73.70%

平成 27 年度

実施時期	平成 27 年 12 月～平成 28 年 1 月
実施方法	郵送法
発送数	301 件
回答数	251 件
回答率	83%
無効回答数	39 件(問 1 で「以前から(抜取りを)行っていない」と回答等)
有効回答数	212 件

(以上)